

交通救助対応訓練を実施

日時：令和5年2月28日（月）10時～16時

- ・実施場所 岩出市中迫154 那賀消防組合消防本部
- ・訓練目的 資機材の有効かつ適切な操作技術を習得し現場活動能力の向上を図ることを目的に実施しました。
- ・参加人員 職員 36名



【車両安定化】

車両安定化とは、動揺が激しい車両を固定することで、要救助者の負担を軽減するとともに、二次被害防止の目的で行います。

車両固定用ブロックを車両下部に入れて固定



【ガラスマネージメント】

ガラスマネージメントとは、ガラスを破壊する際、ガラス片が要救助者に飛散するのを防ぎつつ破壊する方法になります。

車のガラスはフロントガラスを除き粉々に割れるように作られています。

ガラスにテープを貼り付けて割ることにより、ガラスの飛散を防ぎ二次被害防止を行います。





【車両開放訓練】

① ドア開放

ドアが開放不能な時に、油圧器具を使用して車両を解体し、要救助者を救出する方法です。



② 車両挟まれ

ハンドル等に挟まれている要救助者はラムシリンダーという器具を使用し、挟まれている箇所の開放を行います。



今後も、実災害を想定した訓練を積極的に取り入れ、各種災害における知識、技術、体力の向上に努めてまいります。